

経済産業省・産業保安監督部

保安管理業務外部委託 委託契約書等のサンプルを提示

「主任技術者制度の解釈及び運用(内規)」が平成21年5月1日付けで改正が実施され、自家発電設備等に関する保安管理業務外部委託承認制度に基づく承認申請の審査基準が変更された。

新たな審査基準については既に平成21年11月1日から適用を開始しており、適用開始日以降の申請については新たな審査基準に基づいて審査が行われることとなった。

新たな審査基準に関しては、定期的な点検時における点検項目の明確化を図るなど、従来の審査基準に比べ、承認を受けるための審査要件を追加した。そのため、適用開始日(平成21年11月1日)以降は、当該制度に基づく申請を行う際には新たな審査基準を充足する委託契約を締結したものでなければ承認を受けることができなくなっている。

経済産業省・産業保安監督部では、この審査を円滑に進めるため、ホームページを通じて「委託契約書等のサンプル」、「外部委託制度に係るQ&A」を掲載して周知を図っている。自家発電設備等を設置するユーザーには、経済産業省・産業保安監督部のホームページを参照されるようおすすめします。

国土交通省

発電機を追加指定 低騒音型4社8型式など

国土交通省は、低騒音型建設機械として、新たに発動発電機などの10機種・32型式(うち超低騒音型6機種・21型式)の追加指定を行い、平成21年12月22日付けで告示した。そのうち、発動発電機については4社が申請した合計8型式を追加指定した。

なお、今回、低振動型建設機械については申請が

なかった。

一方、同省は平成21年12月22日付けで、第3次基準値に適合した排出ガス対策型建設機械として、一般工事用については6機種・8型式、第2次基準値に適合した同建設機械として2機種・6型式をそれぞれ追加指定した。そのうち、発動発電機については、第3次基準値適合分として北越工業(株)、新ダイワ工業(株)(現(株)やまびこ)の2社が申請した合計2型式、第2次基準値適合分として日本車輛製造(株)、北越工業(株)が申請した4型式をそれぞれ追加指定した。

今回、トンネル工事用については申請がなかった。

低騒音型発動発電機

型 式	定格容量	申請社名	適合騒音基準値
DGM250MK	25kVA	新ダイワ工業(株)	超低騒音型
PGW150SCL-A1	2.5kVA	北越工業(株)	超低騒音型
SDG60S-7B1	60kVA	北越工業(株)	超低騒音型
SDG220S-3A6	220kVA	北越工業(株)	超低騒音型
SDG220S-7A6	220kVA	北越工業(株)	超低騒音型
SDG300S-3A6	300kVA	北越工業(株)	低騒音型
EU9iGB	0.9kVA	本田技研工業(株)	超低騒音型
NES60EH-L	60kVA	日本車輛製造(株)	超低騒音型

排出ガス対策型発動発電機

型 式	定格容量	申請社名	適合排出ガス基準値
DGM250MK	25kVA	新ダイワ工業(株)	第3次基準値
SDG60S-7B1	60kVA	北越工業(株)	第3次基準値
SDG220S-3A6	220kVA	北越工業(株)	第2次基準値
SDG220S-7A6	220kVA	北越工業(株)	第2次基準値
SDG300S-3A6	300kVA	北越工業(株)	第2次基準値
NES60EH-L	60kVA	日本車輛製造(株)	第2次基準値